

# 新規事業採択時評価結果（平成16年度新規着工準備箇所）

担当課：都市・地域整備局街路課

担当課長名：斉藤 親

事業名	J R 予讃線連続立体交差事業 (松山駅付近)	事業区分	街路	事業主体	愛媛県
起終点	自：愛媛県松山市美沢二丁目 至：愛媛県松山市竹原二丁目	延長	2 km		

## 事業概要

本事業はJ R松山駅付近（2 km）を連続立体交差化し、踏切8箇所を除去するとともに道路交通の円滑化を図るものである。

## 事業の目的、必要性

連続立体交差事業にあわせ、J R松山駅の駅前広場やJ R松山駅周辺土地区画整理事業等の都市基盤を整備し、渋滞の解消と事故の防止を図るとともに、周辺のまちづくりを進め、地域の活性化・一体化を図るものである。

全体事業費	約290億円	踏切交通遮断量	8万台時/日
費用便益比	B / C 1 . 6	総費用	201億円 事業費：201億円 維持管理費：0億円
		総便益	312億円 走行時間短縮便益：292億円 走行費用減少便益：20億円 交通事故減少便益：0億円
		基準年	平成15年

## 事業の効果等

- ・都市圏の交通円滑化の推進（現道の踏切除却や都市計画道路などの都市基盤整備による交通の円滑化）
- ・中心市街地の活性化（J R松山駅前広場整備等の中心市街地内での都市基盤の整備）
- ・その他（鉄道により一体的発展が阻害されている地区を解消）

## 関係する地方公共団体等の意見

第五次愛媛県長期計画（前期実施計画2001～2005）において、J R松山駅付近の高架化と駅周辺の再開発の推進が位置付けられているとともに、愛媛県、松山市より早期実現の要望を受けている。

## 事業概要図

凡	例
——	供用中
■■■■	事業中
■	平成16年度 新規着工準備
○	踏切
○	既設立体交差



総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。